



136カ国・地域と日本全国から1441企業・団体が集まったTEJ2018

## ツーリズムEXPOジャパン フォトレポート

「見える化」図った旅のカタチ。  
様々なイベントが展開された4日間

東京ビッグサイトで9月20日から23日の4日間にわたり、日本観光振興協会、JATA、JNTOの「三位一体」により開催されたツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2018。20日は主催者参加者が一堂に会したウェルカム・レセプションが開催されました。会場では20日、21日の業界日

に商談会が行われたほか、新しい旅のカタチを「見える化」するテーマ別ブース展開や、各地域が伝統芸能や民族舞踊を披露するイベントなどが繰り広げられました。

また会場内ステージでは「2019日本香港観光年」制定のセレモニーが行われるなど、会場のいたるところで意欲的な展開が見られました。



香港政府観光局は国土交通省観光庁、日本政府観光局とともに「2019年日本香港観光年」制定のセレモニーを実施。香港政府観光局のピーター・ラム会長（写真左）も駆け付けました



フランス観光開発機構では凱旋門の下でセミナーを開催



ウェルカム・レセプションではフィリピンのベルナデット・ロムロ・ブヤット観光大臣が乾杯の発声（左）／展示商談会も活発に行われました（上）



ロシアの民族衣装で出番を待つ子どもたち



シチリアのブースでは本格的な室内楽の演奏が



祭りをテーマとしたブースは櫓も立てられました



日本酒蔵ツーリズムのブースには着物のスタッフも登場（左）／台湾の少数民族が歌と踊りを披露（右）

### 2019年は大阪で開催

クロージングセレモニーではブースグランプリの発表がなされたのち、来年TEJは初めて東京を飛び出し、大阪で開催されることから、最後はステージと客席が一丸となって「大阪で会いましょう！」とコール。過去最大の20万7352人の来場者数を数えたTEJ2018は華やかに幕を閉じました。



クロージングセレモニーにはゆるキャラたちも大集合